



代表取締役社長 代表取締役社長

澤井 大輔 SAWAI DAISUKE 香山 健二 KAYAMA KENJI

新年のご挨拶

新たな年がスタートし、早くも数週間が過ぎました。2025年は、私たちにとって「変化の予兆」を確信できた1年でした。人事評価制度や技術勉強会といった組織の土台づくりが始まり、まだ未熟とはいって、新たな一步を確かに踏み出したのです。

この手応えを糧に、2026年は成長のアクセルを強く踏み込む年になります。売上高20億円の突破、そして将来的な100億円企業への成長を見据え、皆さんと共に次のステージへと駆け上がりたいと思います。このワクワクするような未来図を共有し、共に歩みを進めていきましょう。



さらに、長年の課題であった大阪営業所の開設も実を結び、既存社員が部下を持ちマネジメントをおこなうという新しいフェーズに入りました。2025年に芽生えたこの連携の力を、今年はさらに大きく育てていきましょう。

既存拠点のリノベーションも推進します。新栄オフィスは不動産リノベーション事業のショールームを兼ねて改装し、名古屋営業所（錦）、名古屋オフィス（丸之内）を含めた3拠点間を自由に行き来できるフリーアドレス制度を導入予定です。部署の壁を越えて自由に行き来し、偶発的なコミュニケーションが生まれることを期待しています。

なぜこれほど環境へ投資するのか。それは皆さんに「成長する企業で働いている」という誇りを持っていただきたいからです。きれいなオフィス、最新の設備、自由な働き方。これらは皆さんのパフォーマンスを最大限に引き出す舞台です。会社が成長すれば環境も良くなる。その好循環を見える形で示しています。

この成長を支えるために、働く環境への投資も惜しみなく進めていきます。手狭になつた名古屋南事業所については、新たに有する体制が整ってきました。属人的だった仕事の仕方から、チームで勝つという方向へ、組織の空気が変わり始めています。

20億円、そして100億円企業へ。未来を変える大型投資

2026年、私たちは明確な成長ロードマップを描いています。まずは売り上げ20億円の突破。そして製造部門・駐車場部門合わせて10名の新たな仲間を迎える計画です。これは、私たちにとっての次のフェーズである50人体制で50億円、さらにその先の100億円企業を目指すための重要な節目となるでしょう。今、ベクトルをぐいっと上に向けることで、力強い上昇気流に乗ることができますと確信しています。

なぜこれほど環境へ投資するのか。それは皆さんに「成長する企業で働いている」という誇りを持っていただきたいからです。きれいなオフィス、最新の設備、自由な働き方。これらは皆さんのパフォーマンスを最大限に引き出す舞台です。会社が成長すれば環境も良くなる。その好循環を見える形で示しています。

社員と家族を守る、人生に寄り添う福利厚生

成長を目指す上で、最も大切にしたいのは人です。そしてそれは、社員の皆さんだけでなく、支えてくださるご家族も含まれます。仕事に打ち込むには、家庭が安心できる場所でなければなりません。

常々、この社内報を紙で発行し、ご家族に見てもらえるようにとお伝えしているのも、会社の雰囲気や状況をご家族にも知つていただき、応援してもらえるような関係を築きたいと思っています。また、福利厚生も、人生の節目や万が一の不安に寄り添えるものでありたいと願っています。

個人的な願いではありますが、例えば、お子様の習い事手当や、万が一の際に残されたご家族を支える遺族年金のような仕組みができればと考えています。人生には予期せぬ困難がつきものだと痛感していますので、将来的に会社がセーフティーネットとなり、不安を取り除きたいのです。

厚生の情報を即座に確認できるなど、情報のオープン化を徹底していきます。

かつては先輩の背中を見て盗むスタイルが主流でしたが、多様な人材が入社する今、そのやり方は通用しません。特に製造部門においては、技術継承の言語化が必要不可欠。これからは「見て覚える」ではなく、言葉による体系的な指導が求められます。そして、入社半年で何を学び、3年後にはどのような技術者になれるのか、成長の道筋を示していく。こうした教育を現場任せにするのではなく、会社全体の最重要ミッションとして改革を進めていく所存です。

「わかりません」は言わない、プロとしての誇り

最後に、これから小澤製作所を担う皆さんに伝えたいメッセージがあります。それは、一人ひとりが技術のプロフェッショナルとしての誇りを持つてほしいということです。特に製造部門の皆さんは、お客様から見れば1人の立派なエンジニアです。

こうした私たちのような規模だからこそできる、顔の見える温かみのあるサポートしあが、福利厚生の真の価値ではないでしょうか。「この会社なら大丈夫」「家族も大にしてくれる」。その安心感があれば、果敢に挑戦ができるはず。物理的な働きやすさと精神的な安心感、この両面を整え、皆さんが長く働き続けられる組織を作りましょう。



私たちも今期、採用活動に並々ならぬ決意で臨んでいます。10名の採用枠に対し、最大7000万円という予算を確保しました。1人当たり700万円という、異例ともいえる投資額です。それだけ優秀な人材を求める、本気で組織を強くしたいという覚悟の表れだと受け取ってください。

だからこそ、入社した人材を活かしきれない事態は避けなければなりません。「いつか育つだらう」ではなく、誰もが確実に成長できる仕組みを構築することが急務です。すでに昨年から改革を進めていますが、2026年はさらにそれを加速させるつもりです。

具体的には、属人化していた業務をマニュアル化し、ポータルサイトを通じて誰もが情報にアクセスできる環境を整えます。これまでには「誰に聞けばいいかわからない」という状況があったかもしれません。今後は、ポータルサイトを社内SNSのように活用し、他部署の取り組みや福利

文系出身であろうと、入社1年目であろうと、現場に立てばプロとして見られます。お客様からの質問に対しても「わかりません」と答えて終わってしまうのは、プロの仕事とは言えません。その場ですぐに答えられなくても、「持ち帰って検討します」と伝えたり、チャットですぐに設計担当に確認したりと、解決策を提示する姿勢こそが信頼を生みます。

私たちが掲げているパーソンズ「専門性と創像力で社会に未来をつなぐ」という言葉。これを日々の業務で体現していくください。「わからない」で思考停止するのではなく、どうすれば解決できるかを考える。そのエンジニアリング力こそが、私たちの最大の武器です。技術営業として、ただモノを売るのではなく、技術に基づいた提案ができる人材になってください。そのため、会社としても勉強会や教育の機会を全力で提供していきます。

2026年は、小澤製作所にとって大きな飛躍の年になります。新しい仲間が増えること、拠点が新しくなること、新しい制

